

関市まちづくり市民会議

まちづくりミーティング

実施報告書

関市まちづくり市民会議の歩み

まちづくり市民会議（以下、市民会議）は平成 24 年からはじまり、延べ 72 件の提案が誕生しました。10 年続けてきた市民会議は、第 10 期を以って閉幕し、令和 5 年度より新しく生まれ変わった市民会議がスタートしました。

これまでの市民会議の目的は、市民の参画と協働によるまちづくりを推進するため、市民の視点から市が抱える課題を洗い出し、課題解決のための様々な事業を提案することでした。そのため、参加者の方々には、約 10 か月間にわたって、市民会議に関わってもらう必要がありました。

新しい市民会議では「もっと気軽にまちづくりに参加」できるよう、市民会議に関わる期間 3 か月程度に短縮し、複数のテーマを設け、全 3 回開催する運びとなりました。

さらに、市民会議初の取り組みとなる「無作為抽出」を取り入れ、これまで市民会議を知らなかった方々にも参加いただきました。

名称	開催期間	内容
まちづくりミーティング	令和 5 年 6 月中旬～ 8 月中旬	無作為抽出された市民の方が集まり、日頃から考えている課題について話し合います。
自分ごと化会議	令和 5 年 9 月中旬～ 12 月中旬	第 5 次総合計画後期基本計画における課題の中からテーマを取り上げ、そのテーマに関係する市民を募集します。
まちづくりカレッジ	令和 5 年 12 月中旬～ 令和 6 年 2 月中旬	関市のまちづくりに関心をもってもらえるよう、講座形式で関市の政策や計画について学ぶ機会をつくれます。

〈まちづくり市民会議の各期の提案数と採択数〉

	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期
提案数と 採択数	10 件 (採択 3 件)	12 件 (採択 2 件)	9 件 (採択 2 件)	6 件 (採択 4 件)	6 件 (採択 5 件)
	第 6 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期
提案数と 採択数	6 件 (採択 6 件)	5 件 (採択 3 件)	7 件 (採択 7 件)	6 件 (採択 5 件)	5 件 (採択 2 件)

まちづくりミーティング

実施報告書 1

1.開催概要

名称	まちづくりミーティング(第1回)
日時	2023年6月17日(土) 14:00~16:00
開催場所	関市役所 6階 大会議室
参加者	18名 (10代1名、20代4名、30代3名、40代3名、50代3名、70代4名)

2.開催内容

工夫したこと

市民会議初の無作為抽出であったため、参加者同士のコミュニケーションが円滑に図れるように、自己紹介の時間をたっぷりと確保し、座席をサークル状に並べて進行した。



自己紹介の様子



趣旨説明の様子

① アイスブレイク

まちづくりミーティングの趣旨説明を市民協働課から行った。その後、4グループにそれぞれ分かれ、アイスブレイクを行った。アイスブレイクでは「関市の遊びスポットは」というお題で、個人ワーク→グループ共有してもらった。



アイスブレイクの様子



遊びスポットのまとめ

② ワークショップ

アイスブレイクの後には、ワークショップのやり方について説明をし、その後それぞれのグループで分かれてワークを行った。

今回は、「関市の理想の姿」というお題に対してグループで考えて話をまとめた。KJ法の説明とグランドルールを共有してから行った。今回のグランドルールは批判厳禁、自由奔放、質より量、便乗発展の4つで設定した。

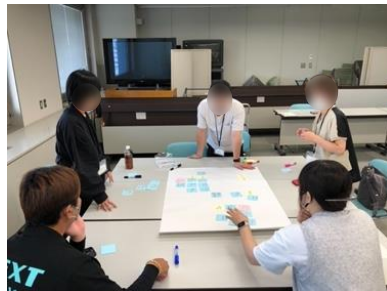
また、グループ内でファシリテーターと全体発表担当の人を事前に決めてもらった。所要時間は35分。個人ワークの後にグループ共有を行った。また、グループワークの後には休憩兼まとめの時間を15分設けた。



個人ワークの様子



グループで共有の様子



意見をまとめる様子



ワークショップ中の会場の様子

③ 全体発表

グループワークを行った後は、全体発表を行った。最初使用したサークルの配置で発表を行った。希望グループから順に3分ほどの発表だった。その後、質疑応答を2分で行い1グループあたり5分ほどの持ち時間で行った。

今回は年代によってグループを分けたこともあり、若者世代は移動手段の話がメインで挙がった一方で年配の世代は幅広く実現性の高い話が多かった。

最後には、市民協働課からの総括、感想を言ってもらい事務連絡、アンケート記入で会を終了した。

④ 成果物		
	発表時の会場の様子	ライオングループの発表の様子
	最終的な成果物は以下の通りである。	
		
	成果物（ペンギンチーム）	成果物（ゾウチーム）
		
	成果物（クマチーム）	成果物（ライオンチーム）

3.参加者の声／アンケート調査結果

アンケート結果 (グッド)	・色々な方と話せて、意見が聞けたから。 ・やはり様々な考えを直接聞けた。最終的に関市に求める部分は一緒だった。 ・幅広い世代の方の意見や関市にかかる思いを理解できたから。 ・色々な意見が聞けて多角的な視点から関市を見つめ直す機会になりました。 ・近い年代との交流だったため、高齢者などと話があまり出来なかった。
------------------	---

	・市役所の方がみえて、最後にお話を聞けたから。 ・皆、積極的に屈託のない意見が出ました。 ・色々な発見や学びがあり、楽しかったです。
アンケート結果 (トライ)	・目的をはっきりさせてほしい。 ・Zoom などのオンラインで参加できるようにしてほしい。 ・各世代との交流を増やしてほしい。 ・色々な担当課の方と話してみたい。 ・話しやすいフォローを希望します。 ・せっかくできたグループが、次回は解体と聞いて残念です。今まで全く繋がりなかった方との触れ合いを、大切にしたいと思います。

4.総括

無作為抽出を行ったことで、いままで「まちづくり市民会議」の存在自体を知らなかった方々にアプローチすることが出来た。幅広い年齢層の方々が集まったため、世代間の価値観のちがいに触れられる貴重な場になった。

この取り組みを継続することで、これまで以上に関市のまちづくりに関わってくれる人が増えると感じた。

第2回は、今回のアンケート結果をもとに、更なるブラッシュアップに取り組みたい。

実施報告書 2

1.開催概要

名称	まちづくりミーティング(第2回)
日時	2023年7月8日(土) 14:00~16:00
開催場所	関市役所 7階 つなぐガーデン
参加者	13名 (20代3名、30代2名、40代1名、50代3名、70代4名)

2.開催内容

① 趣旨説明、 自己紹介

第1回目のアンケートで「目的を明確にしてほしい」という意見が複数あったため、市民協働課から再度趣旨説明を行った。

自己紹介はグループごとで実施。「①呼ばれたい名前、②お住まい、③前回から今回までにあったいいこと」の3つを共有した。



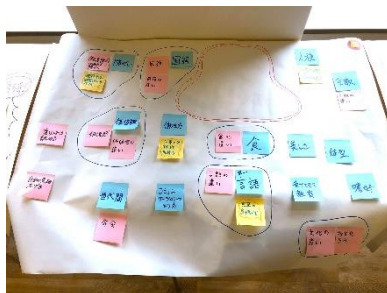
改めて趣旨説明を行った



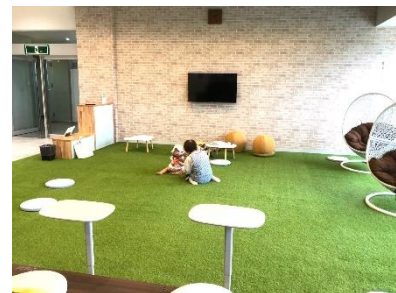
自己紹介の様子

② アイスブレイク

第2回のテーマは「多様性」。最終目標は「多様性に関する課題の解決策を作り出す」こと。アイスブレイクとして「多様性と聞いてイメージするもの」を付箋に書いてもらい、グループで共有した。



質より量を意図して意見出し



今回は託児依頼があった

③ グループワーク

第1回のまちづくりミーティングでは、年齢別にグループ分けを行ったが、第2回は各年代をバランス良く配置し4グループ(ライオン、ゾウ、

ペンギン、クマ)設定した。

グループワークは、45 分間。①テーマ設定、②テーマに対する課題出し、③課題の解決方法についてグループ内で話し合った。今回は、各グループに事務局メンバーも加わった。

各グループで事務局メンバーがファシリテーター役を務め、全員が自由に意見を言えるように配慮した。



話題は尽きない印象であった



発表を意図してまとめ作業も

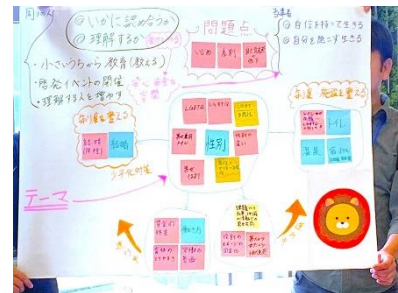
④全体発表

全体発表は、準備が出来たグループから挙手制で実施。①テーマ設定、②テーマに対する課題出し、③課題の解決方法までを各グループでどのように進めて、どのような話が出たのかということ共有した。

各グループのテーマは以下の通り。ライオン「性別(LGBTQ)」、ペンギン「外国人の働き方」、ゾウ「文化」、クマ「外国人、言語、LGBT」。

全体発表の内容 (ライオン)

ライオングループ テーマ:性別(LGBTQ)

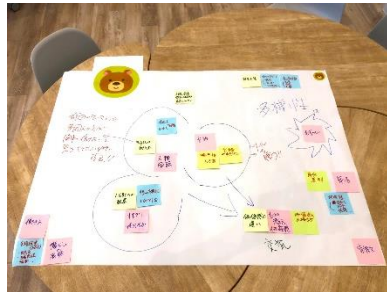


課題

結婚、賃金の格差、働き方、育休の取りやすさ、労働の参画、男女の役割イメージの固定化、男だから・女だから、トイレ、温泉、宿・ホテル、いじめ、差別、自己肯定感の低下

→これらの課題の中から、「いじめ、差別、自己肯定感の低下」にフォーカスして話し合った

全体発表の内容 (ペンギン)	解決方法 周りの人の理解を増やすことから始める。いかに認め合うか・理解するか。小さいうちから教育する。啓発イベントを開催する。受け入れるというよりは「受けとめる」というスタイルで。個人の理解と共に、制度や施設を整えて安心・安全な空間をつくる。そうすることで、当事者が自信を持って生きられる。自分を隠さずに生きられる。 ペンギングループ テーマ:外国人の働き方 課題 ゴミ出し、災害のとき、日本人と外国人の分断→日本人と関わらなくても生きていける 背景にあるもの 外国人の転職→外国人と日本人の収入が一緒、急に消えるので教育できない、年功序列→能力重視 解決方法 会社や外国人を巻き込んで企画する、相手との違いを受け入れる、一緒に行動する、一緒に料理する、企画から外国人とする、会社と一緒に企画する→会社のメリット「減税、広報 PR、人が集まる」
全体発表の内容 (ゾウ)	ゾウグループ テーマ:文化

全体発表の内容 (クマ)	課題 言語、文化、食べ物、住居、服装、音楽、差別、意思疎通、ステレオタイプ、宗教、境界線、反骨精神、校則変える、ブラック校則、くつ下の色、髪の色、ピアス、日本の価値観古い 解決方法 言語の課題には、ポケトークやアプリ等のツールを使用する。話すより文字で伝える。三者翻訳を行う。 クマグループ テーマ:外国人、言語、LGBT  
	課題 ・外国人、日本人等の国籍、外国人の受け入れ、人種・国籍 ・言語、標準語と方言、言語の多用化 ・LGBT への配慮、性の多様性、性別、性的指向 ・多様性は難しい 解決方法 言語の違いには、積極的に翻訳機等のツールを使う。価値観の違いやものの考え方の違いには、積極的に交流することで理解し合う。外国人には、前回のテーマの続きで「外国人の方が関市に住みたいと思うやさしい街にする！！」。 ④ フィードバック 全体発表後、市民協働課担当者よりフィードバックを行った。担当課として、今回のミーティング内容をしっかりと受け止め、政策に活かしていきたいことを語った。

3.参加者の声／アンケート調査結果

第2回まちづくりミーティングに期待していたこと	・新しいメンバーとの交流。 ・多様性について年上の方の考え方や事例など、経験したことについてお話を聞けたらよかったです。 ・いろいろな人の考えを聞きたい。いろいろな人と繋がりたい。 ・多様性についての活発な意見交換。 ・今回はどんな方法で話し合うのかを期待した。
それが叶うまちづくりミーティングだったか(評点とその理由)	・5点 皆さんの前向きな意見に感動しました。 ・5点 年上の方の考え方が、自分と同じような考え方を持っていることが聞けました。 ・5点 教えてもらいたいことについて詳しい人と直接話げできたから。自分とは違う視点でいろいろな意見が聞けたから。 ・5点 いろいろな方の多様性に関する意見を聞けたから ・3点 前回と同じ方法だったから
より良い市民会議にするためにしてほしいこと	・関市のバックアップです。 ・特にないです。今回のように役員の方が入っていただけるとやりやすいと思いました。 ・出てきた意見が何か役に立ったり、生かされていると感じることができるとよい。具体的には出てきた意見を市の関係する担当課(今回は学校教育課)にも伝えてもらえるとうよい。 ・フランクに「敬語禁止」は面白いかもしれません。 ・テーマが難しすぎるのは困る。
その他	・次回も楽しみにしております。 ・前回より人数が少なかったのは。

4.総括

第2回目である本会では、第1回目のアンケートに複数記載があった「目的を明確にしてほしい」という意見に対応するため、市民協働課から再度「まちづくりミーティングの意図」をお伝えした。

つなぐガーデンの開放的な特色を活かしながら、自由な意見交換が出来るようにやわらかい雰囲気づくりに励んだ。

第2回のアンケートにあった「出てきた意見を市の関係する担当課に伝えてほしい」という要望は、ぜひ取り入れながら、第3回のテーマ「子育て」に関係する課の担当者に「まちづくりミーティング」への出席を要請しても良いかと感じた。第3回は、KJ法とは違った進め方ができると尚よい。

実施報告書 3

1.開催概要

名称	まちづくりミーティング(第3回)
日時	2023年7月22日(土) 14:00~16:00
開催場所	関市役所 7階 つなぐガーデン
参加者	11名 (10代1名、20代3名、30代2名、40代1名、50代3名、70代1名)

2.開催内容

①進め方 (ワールド・カフェ)

第1回、第2回はKJ法を用いて話し合いを行った。第3回は、ワールド・カフェを実施。1テーブル3名~4名を1グループとして、適宜席替えを行いながら「関市がもっと子育てしやすいまちになるためのアイデア」というテーマについて話し合った。

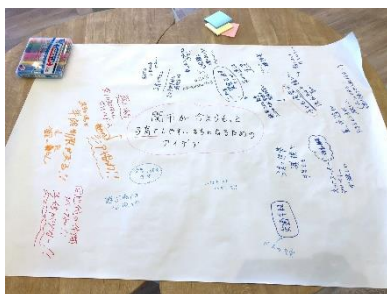


気づきを自由に模造紙へ記入



ワールド・カフェで楽しく

グループの真ん中には模造紙を設置し、話し合いの中で気づいたことやアイデアを「文字・イラスト・図」等を用いて自由に記載してもらった。



②1ラウンド目 (20分)

1ラウンド目は、20分話し合った。その後、ホスト役を1名残して、そのほかの方々は別のテーブルに移動。前グループの方とはバラバラになるように席替えを実施した。

③2ラウンド目 (20分)	2ラウンド目は、ホスト役が前のグループで話し合ったことを簡単に共有することからスタート。20分間話し合った。模造紙は前グループで使ったもの書き加える形で、2ラウンド目で気づいたこと等を自由に記載してもらった。
④よはくの時間 (10分)	2ラウンド目が終了したのちに、最初に座った席へ移動。休憩を兼ねて「よはくの時間」をとった。他のグループに移動して、どんな話し合いをしたのかを共有したり、模造紙に新たに書き込まれた内容を見ながら、話し合ったりした。 話し合いの様子 話し合った内容を共有
⑤3ラウンド目 (20分)	3ラウンド目は、新たなお題「関市がもっと子育てしやすいまちになるために、私(私たち)ができること」で20分間話し合った。アイデアを自由に出した1～2ラウンド目とは違って、参加者は、一気に自分ごととして捉えていたような印象であった。 話し合いの中で「これは事業として実施できそうだ」ということになり、プロジェクトが誕生したグループもあった。具体的には無料の駄菓子屋開業や子ども食堂の食材集めなど。
⑥全体共有 (20分)	改めて初期のテーマ「関市がもっと子育てしやすいまちになるためのアイデア」に対して、全体共有を行った。1ラウンド目から3ラウンド目まで話し合った中で、自分がこれだ！と思ったアイデアや気づきを共有した。 参加者全員の発言内容は次の通りである。 ①子供と大人などの区切りなく遊べる場所を作る ②家庭と学校の間にある地域の自由に遊べる場所を作る ③ボランティアに参加して地域のために活動する ④公民館を使って集まれる場所を作る ⑤コロナの影響で地域と子供のふれあいが少なくなったので、山の講の復活

	⑥児童館に子育てサロンのような親同士でお話できる場所を作る ⑦子ども食堂のために畑のものを集める、祭り文化、芸能の担い手を作りたい ⑧子供の居場所となる無料駄菓子店を作る。色々な人を巻き込んで子育て支援をする ⑨公園に水の遊び場を整備する 屋外施設の遊び場 ⑩百年公園のトイレを整備してほしい(おむつ替えのシートなど)、モリノスのような遊び場 ⑪農業関係のお手伝いをする ⑫屋内の遊べる空調のある大きな施設を作る ⑬公園に高い柵を作り、ボールで遊べる公園を作りたい ⑭地域のおじいちゃん、おばあちゃんと仲良くなる
	①子供と大人などの区切りなく遊べる場所を作る ②家庭と学校の間にある地域の自由に遊べる場所を作る ③ボランティアに参加して地域のために活動する ④公民館を使って集まれる場所を作る ⑤コロナの影響で地域と子供のふれあいが少なくなったので、山の講の復活 ⑥児童館に子育てサロンのような親同士でお話できる場所を作る ⑦子ども食堂のために畑のものを集める 祭り文化、芸能の担い手を作りたい ⑧子供の居場所となる無料駄菓子店を作る 色々な人を巻き込んで子育て支援をする ⑨公園に水の遊び場を整備する 屋外施設の遊び場 ⑩百年公園のトイレを整備してほしい(おむつ替えのシートなど) モリノスのような遊び場 ⑪農業関係のお手伝いをする ⑫屋内の遊べる空調のある大きな施設を作る ⑬公園に高い柵を作り、ボールで遊べる公園を作りたい ⑭地域のおじいちゃん、おばあちゃんと仲良くなる 関市が、今よりもっと子育てしやすいまちになるためのアイデア 全体共有の成果物
⑧最終回のテーマ	最終回となる次回のテーマは「自分の周りにある課題」。1回目は「まちづくり」、2回目は「多様性」、3回目は「子育て」と話し合いを重ねてきた中で、改めて「自分の周りの課題」について話し合っていただく機会を設ける。

3.参加者の声／アンケート調査結果

第3回まちづくりミーティングに期待していたこと	・子育ての困りごととは何か ・色々な世代の交流 ・関市の将来
-------------------------	---

	・楽しい情報交換 ・子育てしている方たちの苦勞を聞いて、この町に何が足りないのかを探ること ・皆さんのいろいろな考えを知ることができる
それが叶うまちづくりミーティングだったか(評点とその理由)	・5 点 いろいろな考え方、意見が聞けたから ・5 点 席の移動があったことで、色々な人と話せた ・5 点 広い世代の生の知らなかった声が、聞けました ・5 点 とても楽しく話し合いができた ・5 点 子育てしている方の不満や提案が聞けたから ・5 点 子育てから離れているので、知らないことが知れた
より良い市民会議にするためにしてほしいこと	・より多くの人困っている事をテーマにする ・特に無いです ・全体のフリースペースはいいかな ・なし ・特にありません ・ワールド・カフェはいい方法だったが、全部のグループをまわるのかと思ったら一回だけ(時間の都合もあると思う)で、全部回れたらもっといいと思う
その他	・少しずつだが、自分の思いが出せている。ミーティングに参加できて良かった。

4.総括

第3回目である本会では「ワールド・カフェ」を実施した。その理由は、第2回目のアンケートで「評点が3点の理由として、前回と同じ手法(KJ法)で話を進めていた」を改善するためであった。つなぐガーデンの開放的な特色を活かしながら、限られた時間の中で、なるべく多くの方と気軽に話し合える雰囲気づくりを行った。

第3回目の全体共有のライドや、本レポートを関市役所の各課へ共有することで、住民の生の意見を聞いた貴重な機会が最大限に活かされたと感じている。

第4回目(最終回)は、これまでの話し合いを統合し、かつ住民が地域課題の解決に向けて自分ごととして取り組みをスタートできるような「大いなる気づきの場」を提供できるように心がけたい。

実施報告書4

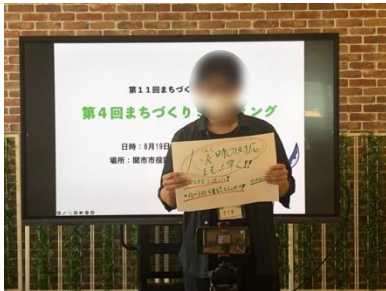
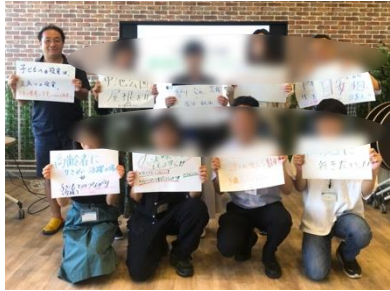
1.開催概要

名称	まちづくりミーティング(第4回)
日時	2023年8月19日(土) 14:00~16:00
開催場所	関市役所 7階 つなぐガーデン
参加者	7名 (10代1名、20代2名、30代1名、50代3名)

2.開催内容

①進め方 (ワールド・カフェ)	第4回は、第3回に続きワールド・カフェを実施。1テーブル4名を1グループとして、適宜席替えを行いながら「自分の身近な課題」というテーマについて話し合った。   田原 自己紹介 ワールド・カフェで楽しく グループの真ん中には、模造紙を設置し、話し合いの中で気づいたことやアイデアを「文字・イラスト・図」等を用いて自由に記載してもらった。
②1ラウンド目 (20分)	1ラウンド目は、20分話し合った。その後、ホスト役を1名残して、そのほかの方々は別のテーブルに移動。前グループの方とはバラバラになるように席替えを実施した。
③2ラウンド目 (20分)	2ラウンド目は、ホスト役が「前のグループで話し合ったこと」を簡単に共有することからスタート。20分間話し合った。模造紙は前グループで使用したものに書き加える形で、2ラウンド目で気づいたこと等を自由に記載してもらった。
④3ラウンド目 (20分)	3ラウンド目は、少しテーマを変更し「自分の身近な課題の解決策」とした。また、2ラウンド目と同じようにホスト役が「前のグループで話し合

	ったこと」を簡単に共有することからスタート。20分間話し合った。模造紙は前グループで使用したものに書き加える形で、3 ラウンド目で気づいたこと等を自由に記載してもらった。
⑤よはくの時間 (15分)	3 ラウンド目が終了したのちに、最初に座った席へ移動。休憩を兼ねて「よはくの時間」をとった。他のグループに移動して、どんな話し合いをしたのかを共有し、模造紙に新たに書き込まれた内容を見ながら話し合った。また、途中で次のお題の言いたいことを言う時間のスライドを表示させ、A3の紙に関市の提言、アイデア提案、私のコミット、つばやきなどを書いてもらった。 よはくの時間の様子 実際に書いたもの
⑥言いたいことを言う時間(20分)	最後の言いたいことを言う時間は、市長に向けた動画を作成する時間とした。一人1分ぐらいで先ほどあげた内容についてお話をしてもらった。 出てきた意見 ・本町商店街に誰もが使える駐車場をもっと整備してほしい(出来なければ作ります) ・関版 目安箱を設置して欲しい ・中高年に生きがいを与えてほしい 人のために、子どもたちのために

⑦市民活動センターの紹介	・関大好きです！ ・鵜沼に行きたい 公共交通機関(バス or 電車)で鵜沼まで行きたい 遊びの幅が広がる ・祭りや文化芸能を残したい コミュニティの場を残す ・中池公園に屋根を作ってほしい 中池公園の池や水路などの水場を綺麗にしてほしい ・火災時の対応をもっと早くしてほしい 消火栓を近くに置いてほしい 消防団のルートの確認をしっかりと欲しい ・高齢者に生きがいや活躍の場を作って欲しい 特に子供の繋がり(ふるさと教育、剪定、見守り隊、学校の除草)など高齢者の持っている力を活かせるように ・子供への投資は未来への投資 子育て環境の充実につながる政策を  発表の様子  集合写真 最後に、実際にプロジェクトをスタートする際や「何かやってみたい」となった際は、気軽に市民活動センターを訪ねてもらおうよう伝えた。その際に、チラシ作成や SNS を通した情報発信、イベント企画など具体的な支援の内容まで説明した。
---------------------	---

3.参加者の声／アンケート調査結果

第4回まちづくりミーティングに期待していたこと	・最後なので思っていることをどんどん発言していけたらと思っていました。 ・楽しかったです ・終着点を知りたかった。
--------------------------------	---

	・色々な人の身近な課題を聞いてみたかった ・楽しく活発な話し合い ・いろんな人との出会い、交流 ・伝えたいことを話す
それが叶うまちづくりミーティングだったか(評点とその理由)	・5 点 回を重ねるごとに気楽な雰囲気でミーティングができていたので、喋りやすかったです ・5 点 たくさんの方と話せて楽しかったです ・5 点 屈託のない話し合いが出来ました ・5 点 グループを回る事で色々聞けました ・5 点 楽しく話し合ううちに様々なアイデアが浮かんできたから ・5 点 前向きないろんな世代の人と話ができたから ・4 点 伝えたいことは発信したが、みんなからの具体的なアドバイスはなかった
より良い市民会議にするためにしてほしいこと	・とても明るい方が司会進行していただいたので、明るいミーティングができていたと思います。Tさんのような方がいれば良い会議になると思います。 ・ドリンクがあると嬉しかったです ・雑談の時間の充実 ・特になし。個人的には良かったと思っています ・今回の形式(ワールドカフェ)はとても良いと思います ・気軽に話せる雰囲気を、つくるために最初にアイスブレイクや話題が広がりそうなこと(関市のおすすめのお店)など話が自由にできるとよい ・日時を考える
その他	・私は 4 回とも参加できて、いろいろな方の考えや思いを知ることができて、とても良かったです。でも 1 回目の 20 人から、毎回人数が減ってしまったのが残念です。(勿論仕事などで参加できなかったのだと思いますが)

4.総括

第 4 回目である本会では最後に関市長への動画を撮影した。それは、この会議の着地地点をより目に見える形で残し、効力感を作りたかったからだ。実際に、最後の言いたいことを言う時間ではそれぞれの関市に対しての思い、要望、コミットメントを語ってもらえた。

ただ、今回コメント(その他)にもあるように人数が 7 人と段々と少なくなっていった。日程が合わなかった部分もあると思うが、それ以外にもまちづくり M T G の内容や回数などの問題もあると思う。今後、その辺りを検討して来年度の市民会議に繋げていきたい。